

## 八女市新庁舎建設基本計画市民説明会 開催結果の概要

### (1) 日時・出席者数等

日時	会場	出席者数
令和元年5月21日(火) 19:30～	おりなす八女 小ホール	27人
令和元年5月22日(水) 19:30～	黒木支所 大会議室	14人

### (2) 質疑応答(要約)

※質問、意見、回答は要約して掲載しています。また、当日出席されなかった方々にも分かりやすくするために、表現を変更している箇所があります。

**1. 今日の説明会の趣旨は何か。この資料の内容は広報にも載っていた。今回の計画は市長が決定したことであり、議員ではどうにもできないと聞いた。**

⇒平成30年度に市民アンケートや市民懇談会、市議会、その他市民の皆さんから様々なご意見を頂戴しながら基本計画書を策定し広報に掲載しました。本日はその内容について詳しく説明し、ご意見をいただきたいという趣旨で開催しました。

**2. 市民の出席者が少ない。これでは意味がない。市民説明会は最初に開催して、その後、議会に話をするのが正しいと思う。**

⇒開催については5月1日号広報への掲載やFM八女で、また市内の各種団体の長等にも文書で御案内するなどして、お知らせしたところです。新庁舎建設については、平成28年12月議会で市長が庁舎整備に着手することを表明、その後検討を進め、平成30年度に市民アンケートの実施、市民意見箱の設置、市民懇談会の開催、そしてパブリックコメント等で様々なご意見を頂きながら、基本計画を策定し議会へ提案したところです。今後も可能な限り市民の皆さんのご意見を聴いていきたいと考えています。

**3. 説明会は今後も開催するのか。**

⇒基本計画の説明会は本日と明日の西部と東部での開催を予定しているところです。なお、その後のご意見につきましては、今年度から基本設計に入りますが、この中でもご意見を頂く機会を設けたいと考えているところです。

**4. 市民懇談会の構成メンバーはどのような方だったのか。現在地での建替えについて行政区長は知らなかった。市民懇談会に行政区長は入っていたのか。**

⇒構成メンバーは、市内団体からの代表者として、八女市行政区長会、八女市未来づくり協議会、福岡八女農業協同組合、八女商工会議所、八女市商工会、八女市社会福祉協議会、

子育てネットワークやめ、八女市身体障害者福祉協会、八女市消防団、福岡県八女森林組合、男女が輝くネットワークやめ、八女市PTA連合会から1人ずつの12人、それに大学の専門の先生が1人、公募市民が2人の合計15人でした。

**5. 建設地については、現在地に建てるということしか聞いていない。市民懇談会に行政区長が一人しか入っていないのは問題だ。**

⇒建設場所の特定は、慎重に協議してきました。まずは、コスト縮減の観点から、敷地面積14,000㎡以上でかつ幹線道路付近にある市有地について18カ所を抽出しまして、「市民の利便性」や、合併時の新市基本計画の市街地ゾーンの設定を基本とする「旧八女市域内であること」、「一定規模面積を確保できること」のほか、財政面も考慮し、「平成36年度末までの合併推進債の活用期限」等も踏まえ、検討してまいりました。その結果市有地の中では、現在地だけが可能性を有していると判断いたしました。

その上で、市有地だけでなく民有地での可能性についても検討をしました。現在地と併せて比較・評価を行うため、要件等に合致する4箇所を選定しました。

検討にあたっては、市民アンケートや市民懇談会、市議会からの意見等も十分に参考にさせていただきながら、この基本計画の「候補地の比較」に掲げている8つの項目により、5つの候補地の評価を行いました。

最終的な決定にあたっては、市議会での説明、その後行政区長地区代表者会議及び未来づくり協議会でも説明させていただきました。また、市内の全行政区長に対しましても、地区代表区長を通じて、この概要版を配付していただき、説明していただくようお願いしたところです。

**6. 市民アンケートの対象者は何人だったのか。**

⇒市民アンケートは配布数3,500人で、1,302人から回答をいただきました。参考までに平成27年の総合計画策定時は、2,500人に配付して回答が922人でした。

また、毎年実施している市民アンケートの昨年度は、2,500人に配付して、回答は862人となっております。このように、通常、市のアンケートを行う場合の配付数は2,500人程度ですが、今回は庁舎建設という大きいテーマであることから、配付数を1,000人増やすこととし、回答数も多く得ることができました。回答をいただいた市民の方々の居住地や世代をみると、市全体エリア別の人口構成比や世代構成比と同じような比率となっており、十分に意向をとらえられたものと考えています。

**7. 建設場所の特定は、慎重に考えないといけない。候補地を挙げてアンケートで尋ねていたら、結果は違うようになったのではないかと。そういう質問でなければ意味がない。**

⇒市では、建設地の決定にあたりましては、アンケートではなく、先程のとおり色んな形で説明を行い、様々なご意見を伺うほうが現実的であり、そのうえで、行政が決めなければいけないという判断のもとで、決定をさせていただきました。

8. 5候補地の比較項目の中に、防災拠点機能という項目があったが、現在地の評価は誤りではないか。建物があつた場所では、地震でそれらが倒壊し、車が通行できないのではないか。

⇒防災については、比較表の防災・まちづくりの中でも説明しましたが、官公署等との近接性という視点で消防署や警察署との位置関係、浸水の影響、緊急輸送道路への接続性で評価しました。そのうえで、その他の課題につきましては、設計の段階で対応して参りたいと考えております。

9. 行政区長は「決定された内容の報告を受けただけで、策定前に意見は聴かれていない」と言っていた。何かあると、市は、行政区長を通すように言っているのではないか。行政区長には最初に意見を聴くべきではなかったのか。

⇒行政は、行政区長がいらっしゃらなければ成り立たないということは十分に理解しています。先ほど行政区長会で説明させていただいたことを説明しましたが、この時は、パブリックコメント期間中であり、計画書が完全に決まる前の、意見を聴く時期でした。

10. 市民懇談会を開催しているが、団体に対しては話をするけど一般市民にはしないということか。一般の市民は話を聴けないのか。

⇒市民懇談会は、各分野の団体の長及び公募による一般市民の方に参加いただいていることから、広く一般市民代表の会と位置付けております。この市民懇談会については、開催日を公表のうえ一般公開し、傍聴していただけるようにするとともに、会議資料についても、ホームページに掲載しております。また、市民懇談会でご意見をいただいていることは、広報でもお伝えしております。

11. 市民懇談会の開催について、パソコンを使えなければ知ることができない。

⇒周知の点については、今後広く知っていただけるよう取り組んでまいります。

12. 先日のある報告会で、3号線バイパスができると聞いた。建設地は津江あたりが良いのではないか。わざわざ狭い現在地に高層の建物を作る必要はない。

⇒3号線バイパスについて全く議論していないわけではありません。同様の話は、市民懇談会でも議論がありました。

なお、3号線バイパスにつきましては、今年度、国において概略ルート・構造の検討のため、計画段階評価を進めるための調査が始まったところです。

13. 自分のお金じゃないから市は簡単に決める。現在地以外の候補地ではもっと安く建てられると聞いた。概算事業費が記載されているが、追加はないのか。市では、よく、追加工事を議会にかけている事例を見かける。最初は安く言っておいて後で高くなる。

⇒今回策定した基本計画を基に建設計画を進めて参りますが、可能な限り工事費が高くならないように努めていきます。基本計画の建設費約65.8億円は、最近の他自治体の庁舎建設計画書や工事の入札状況等を参考にして試算しているところです。しかしながら、今後、工事着工まで2年程度ありますので、資材費や労務費の高騰等社会情勢の変化により工事費が変更になる可能性が十分ありますことを、ご理解をお願いします。

**14. 人口が減少していく中で、事業費を支払っていくことは大丈夫なのか。市民の財政負担が増えてはいけない。**

⇒合併推進債活用等の効率的に財源確保を図るなど、適切な財政運営を行い庁舎建設により市民の皆様の財政負担が増えることはありません。

**15. 現在地の周辺の私有地を買うのか。**

⇒基本計画にも記載しておりますが、「おりなす八女」への来場者も考慮し、来庁者用の駐車場をより多く確保するため、立体駐車場の検討や敷地周辺および近隣地での駐車場の確保についても検討してまいります。

**16. 県内で2番目に広い市域を持っておきながら、立体駐車場の建設の議論は不要である。2100年には明治維新の時と同じくらいの人口になると言われている。八女市も同様に減ると思う。本庁に行くと、いつも混んでいて駐車できない状況だ。広い駐車場を確保してほしい。**

⇒駐車場の確保につきましては、市民アンケートで最も関心が高い課題であり、議会や市民懇談会でも同様の意見をいただいておりますので、最優先で解決しなければならないと思っています。そのような中、立体駐車場も可能性の一つの意見として記載しているところです。また、人口減少についても市民懇談会で様々なご意見をいただいておりますので考慮すべき点であると思っております。

**17. 市役所を、イベントを行えるような場所にする必要はない。**

⇒ご意見としてお受けします。

**18. 自分は広報を見たが、今日の出席者は少ないので、みんな関心が薄いのだと感じる。もっと周知できるよう工夫が必要だ。私は、市長へのはがき等で新庁舎に関して3回ほど意見を送った。市からもきちんと返事をいただいた。**

⇒今日の開催は、広報やFMやめ、団体への案内状等で周知したところです。今後とも更に工夫しながら効果的な周知を図ってまいります。

**19. パブリックコメントで意見を出されているのは2人だ。80ページの計画書を3週間で読み質問を出すのは困難だと感じて、意見は出さなかった。市民は、“おらが市役所”**

を語る場を望んでいる。積極的に説明をすることが必要ではないか。校区単位でも説明会を開催してほしい。

⇒今日の説明会資料の内容は、広報5月1日号でも4ページを使って同じ内容で掲載しています。市民説明会はおりなす八女と、黒木支所での開催としております。周知につきましては効果的に行っていきたいと考えております。

20. 八女市の予算は350億円程度。そのくらいの自治体で補助金が付くとはいえ、40億円の負担は大きいのではないか。新庁舎建設基本計画は、事業手法のページで説明が少なくて分かりにくい。資金調達について比較検討をしたのか。最初からPFIを採用する気はなかったのではないか。この計画書では、とにかく期限が決まっているので従来方式にしたいという思いが見え隠れしている。

⇒事業手法の概要と分離発注方式を選んだ経過については、基本計画の本編に記載させていただいておりますが、分離発注方式やDB方式、DBO方式、PFI方式の説明とそれぞれのメリット、デメリットなどを整理し判断したところです。例えば、PFI事業は、導入可能性調査や事業者選定など一定期間が必要であり、合併推進債を活用できない可能性があることなどによりPFI事業を採用していないという他市の実施状況も踏まえて、比較検討を行い、分離発注方式を採用することとしました。

21. 現在地での建替えは、ありがたいと思っている。

⇒ご意見としてお受けします。

22. 建設工事で見積りはいつ頃出るのか。何社くらい見積りを出させるのか。おりなす八女の建設工事を行った事業者は外してもらいたい。

⇒令和3年度の工事着工の予定で詳細はまだ決まっていますが、発注にあたっては、入札となると思います。

23. 説明会は、あと1~2回やるべきだと思う。

⇒説明会については、おりなす八女と黒木支所としておりますが、市民の皆様のご質問・ご意見につきましては引き続きお受けしていくことにしております。

24. 今回の説明会の議事録は公表していただきたい。

⇒※公表することといたしました。

25. 現在の敷地内の駐車可能台数は何台か。

⇒おりなす八女を含め同一敷地内は281台駐車できます。公用車等を除く市民の方の来庁時の駐車場台数としては214台となっております。

26. 現在でも駐車場は不足している。できるだけ多く確保できるように周辺の用地買収も進めてほしい。

⇒駐車場確保は最優先に解決すべき課題と捉えています。基本計画では、「来庁者用の駐車台数をより多く設置できるようにするため、立体駐車場の整備についても検討します。また、隣接する「おりなす八女」への来場者も考慮し、敷地周辺および近隣地にも十分な駐車場を確保します。」と明記しており、現在地での利用計画はもちろんのこと敷地周辺および近隣地での駐車場確保についても検討してまいります。

27. 本庁舎を車で訪れる際、駐車場への進入口が不便である。進入しやすいように改善してほしい。

⇒新庁舎の利用にあたりましては、安全性を確保し、安心して利用していただけますよう出入口をできるだけ広く確保できるよう検討していきます。

28. 庁舎のデザインは、一目で八女市と分かるようなものにしてほしい。立花町の庁舎は天体観測ができるのかなと思わせる。何か八女市を感じさせるようなものを希望する。立体駐車場の建設に賛成する。庁舎にあったら良いと思われる機能が他にもあると思うので、余裕を持った部屋数にしてもらいたい。

⇒設計業者を選定して、設計業者とともに考えてまいります。八女らしさとして八女産木材の活用等も必要と考えています。基本計画書にも、八女らしさの表現、建物ボリュームや外観の工夫など、八女市の庁舎として相応しい景観デザインとすること、内装の一部に、地域産木材の活用や伝統工芸などの八女らしさを活かしたデザイン・素材を活用すること、市民に親しまれる庁舎の実現を目指すこと等を明記しております。また、部屋数は、昨年執務環境の実態調査を行い、新庁舎に必要なデータを作成しておりますので設計に活かしてまいります。併せて先進自治体の例も十分参考にします。

29. 容積率400%とあるが何階建てでもいいのか。地階は設けるのか。

⇒容積率とは、敷地に占める延床面積の割合のことで、敷地を約15,500㎡と計画しておりますのでその4倍の延床面積まで建設が可能であるということで、階数を制限するものではありません。階数につきましては、今後基本設計で検討していくこととなります。また、地階は設けない予定です。

30. 省エネルギー技術の導入の点で、夜間蓄熱システムなども考えられるが、その後入替えの必要も出てくる。特別なシステムは管理が難しいので、導入は慎重に進めてほしい。設計業者は最新のシステムを入れたがる傾向がある。

⇒基本計画では、環境に配慮した経済的な庁舎建設を目指し、太陽光発電、地中熱利用、自然採光・自然通風、照明用電力消費の縮減、空調・換気設備の省エネルギー技術などの導入の検討のほか、長寿命化・ライフサイクルコスト縮減への配慮についても明記しており

ますので、これらの項目について十分精査し検討していきます。

31.敷地内の緑化についてはどのように考えているか。八女市の銘木なども活用していただきたい。

⇒建物だけでなく、外構や緑化も含めて八女市らしさを念頭においた設計、庁舎づくりをめざしてまいります。